

4 農林水産業功労者

部門	氏名・住所	受賞理由
園芸	いわもと のりゆき 岩本 典行 琴浦町	<p>【経歴】</p> <p>平成26年 琴浦梨生産部指導部長 平成28年～令和3年 琴浦梨生産部長 その他 東伯青色申告友の会会長、梨選果場班長等</p> <p>【功績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①琴浦梨の生産振興、梨生産部を牽引し、温厚篤実で責任感が強く、卓越した指導力から地域の信頼も厚く、産地の育成・発展に邁進。 ②琴浦梨生産部指導部長を1期（平成26年）、生産部長を3期（平成28年から令和3年）歴任。 ③単県事業の活用により、ハウス・網掛け施設、新品種を積極的に導入するなど、卓越した栽培技術と常に新しい技術に挑戦する研究心を有して、生産拡大に取り組む。
畜産	おがわ つとむ 小川 孜 大山町	<p>【経歴】</p> <p>平成24年～令和2年 鳥取県養鶏協会会长 （うち平成25年～平成26年中国四国地域養鶏協議会会长）</p> <p>【功績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①獣医師として鳥取県内の養鶏農家の衛生管理指導に従事した後、昭和45年に就農。 ②平成17年には県内初となる鶏への飼料用米の給与、平成23年には自社の卵を使ったスイーツの加工販売・直売所の経営といった6次産業化、平成30年には農場HACCPの認証農場となるなど、先進的な取組にいち早く挑戦し続け、地域農業を牽引。 ③鳥取県養鶏協会においては、平成24年から9年間にわたり会長を務め、リーダーとして長年県内の養鶏振興に尽力。
園芸	かんざき かつじ 神崎 勝治 湯梨浜町	<p>【経歴】</p> <p>平成20年～平成21年 JA鳥取中央羽合ぶどう部会検査部長 平成22年～平成25年 “ 販売部長 平成26年～平成27年 “ 副部会長 平成28年～令和3年 “ 部会長</p> <p>【功績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①長年に渡り羽合ぶどう部会を牽引し、平成28年に部会長に就任してからは産地の特性を生かした羽合ぶどうブランド「潮騒熟成ハワイピオーネ」「潮騒熟成ハワイシャインマスカット」の確立に貢献。 ②羽合ぶどう部会として農産物直売所イベントへの参加や地元の子ども向け集荷場見学会の開催を通して、地元の方が「羽合ぶどう」に知る機会を作り、地域活性化に努めた。

部門	氏名・住所	受賞理由
農産	たなか まさやす 田中 正保 八頭町	<p>【経歴】</p> <p>平成10年～15年 鳥取県稻作経営者会議理事 平成17年～26年 八頭町認定農業者協議会会长 平成27年～現在 八頭町農業振興協議会水田営農部会部長 平成27年～現在 八頭町農業振興協議会委員 平成29年度～現在 八頭米ブランド化推進協会会长</p> <p>【功績】</p> <p>①昭和55年田中農場を設立、平成8年に法人化、平成28年まで代表取締役、現在は会長。経営的視点を持ちながら有利販売と規模拡大を行い、先駆的な循環型農業を実践する大型経営体として発展し、中心的担い手として地域農業の発展に寄与。</p> <p>②県内外問わず従業員及び農業研修生を積極的に受け入れ、農業の人材育成にも尽力。</p> <p>③平成29年度には八頭町の水田の担い手で立ち上げた「八頭米ブランド化推進協会」会長として八頭町特別栽培米「神兎（かみうさぎ）」の生産拡大と会員の栽培技術の向上に努めている。</p>
農産	たに きよみ 谷 清美 大山町	<p>【経歴】</p> <p>平成16年～令和元年 鳥取県指導農業士 平成26年～平成27年 鳥取県有機農業推進ネットワーク会長 平成30年～現在 名和緑だんだん・大山2001 大豆生産振興会代表</p> <p>【功績】</p> <p>①稲作経営における地域の担い手となり、献身努力により経営発展に尽力した他、有機・特別栽培米、地大豆、菜種栽培等の新しい取組を率先して取り組む。</p> <p>②県内の有機農業の実践者・志向者同士で意見交換できる場を創出するため、「鳥取県有機農業推進ネットワーク」の立ち上げに尽力し、平成26年～27年まで初代会長を務めた。</p> <p>③県が選抜・育成した地大豆「緑だんだん」と「鳥取大山2001」について、当初から県の栽培試験に協力し、平成23年に品種登録した後は生産拡大と販路開拓に尽力。</p>
園芸	とももり かずお 友森 一夫 米子市	<p>【経歴】</p> <p>平成26年～平成29年 米子市農業委員会農業委員 平成29年～令和2年 米子市農業委員会農地利用最適化推進委員</p> <p>【功績】</p> <p>①約24年間にわたり白ねぎ栽培に専念し、たゆまぬ努力で確立してきた栽培技術により、地域でも高い反収を安定的に達成。</p> <p>②米子市の白ねぎ栽培農家の中でも収量が高く、現在、後継者に対して栽培技術・技能の継承を行う傍ら、農家の高齢化・担い手不足による耕作放棄地解消のため、富益地区農地基盤整備事業にも尽力。</p>

部門	氏名・住所	受賞理由
園芸	なんば ひでる 南場 英 北栄町	<p>【経歴】</p> <p>平成22年～平成24年 大栄西瓜組合協議会指導部長 平成24年～平成25年 " 副会長 平成26年～平成30年 北栄町ほうれん草部会副部会長 平成30年～令和2年 " 部会長 平成27年～令和3年 北栄町農業委員会委員</p> <p>【功績】</p> <p>①大栄西瓜組合協議会指導部長、大栄西瓜組合協議会副会長、検査部員、ほうれん草部会長、また北栄町農業委員会委員を歴任され北栄町の農業振興、産地育成、発展に尽力。 ②「産地の維持はみんなの意識」をモットーに「チーム大栄西瓜」を牽引。その卓越した栽培技術と常に新しい技術に挑戦する強い研究心を有する姿は他の模範。</p>
園芸 ・ 農産	にしづき いさお 西向 功 鳥取市	<p>【経歴】</p> <p>平成24年～平成27年 JA鳥取いなば国府支店果実部指導部長 平成28年～令和3年 " 果実部長</p> <p>【功績】</p> <p>①JA鳥取いなば国府支店果実部の役員として長年役員を歴任。 ②Iターン就農者や兼業の就農者が多かった同果実部において、若手に惜しみなく技術や経営について指導。 ③ハウス施設が老朽化し衰退化しかけていた産地で、若手生産者にブドウ施設新設の必要性を唱え、自らが各生産者の農用地の地権者・借り手交渉を行い、県内でも例がないシャインマスカットのブドウ雨よけ施設等の団地化を推進。 ④アスパラガス栽培では県内でもいち早く、鳥取型低コストハウス（耐雪型）を導入し、風雪に強い安定した生産を実現。</p>
園芸	はまさか よしお 濱坂 良男 北栄町	<p>【経歴】</p> <p>昭和57年～昭和63年 鳥取県青年農業士 平成5年～平成16年 鳥取県指導農業士 平成11年～平成13年 大栄町農業委員、JA鳥取中央理事 平成14年～平成19年 JA鳥取中央大栄西瓜組合協議会会長 平成21年～令和3年 北栄町農業委員 (うち平成24年～令和3年は農業委員会長)</p> <p>【功績】</p> <p>①指導農業士やJA理事などを歴任する中、平成14年から平成19年まで大栄西瓜組合協議会会長を歴任し産地発展に貢献。 ②全国に先駆けた新規ラベリング装置（個人名入り）の導入による顔の見える産地づくり、大栄西瓜の商標登録、100周年記念事業、ブランド確立に向けた新選果機導入を主導し、産地のリーダーとして、北栄町の農業振興及び産地の育成に尽力。 ③長年にわたり、農業委員として地域農業者からの相談に応えて、規模拡大農家に対する農地の利用集積をはじめとして、農地の効率的利用に貢献。</p>

農産 ・ 園芸	やまね ひろまさ 山根 裕正 倉吉市	【経歴】	
		平成21年～平成24年 農事組合法人四王寺営農組合理事 平成25年～平成28年 " 副組合長 平成29年～令和3年 " 組合長	
【功績】			
<p>①平成21年「農事組合法人 四王寺営農組合」設立以来、理事として営農組合を牽引し、特色ある米作り（アイガモ農法）や酒米「山田錦」の生産にも継続的に取り組む。</p> <p>②平成29年から四王寺営農組合代表理事組合長として組合員の意思を結集し地域農業の中心となる担い手として安定した経営体の確立に貢献。</p> <p>③農地の集積による規模拡大と転作作物の団地化による農作業の効率化を進め、米作りの他、大豆栽培、経営の複合化に向けて白ねぎ栽培に取り組むなど安定した組織経営に貢献。</p>			